



第3章 計画の目標と施策体系

1. 本町の望ましい環境将来像
2. 基本目標
3. 環境施策の体系

1. 本町の望ましい環境将来像

「大洗町環境基本条例」に掲げた基本理念の実現に向けた最も基本的な目標を、本町の望ましい環境将来像として次のように定めます。

ひとと自然が共生し 環境にやさしいまち 大洗



2 基本目標

2.1 恵まれた自然を守り、大洗の魅力を活かしていこう

本町は、美しい海岸線が続く海、砂浜後背地に続く松林や汽水湖である涸沼など、恵まれた自然環境を活用し、水産業や観光業を発展させてきたことから、自然環境の保全は町の発展にとって大変重要です。町民にとっても、美しい海や水鳥が集まる涸沼など豊かな自然環境がある町に住んでいることは、心の癒しであり、誇りでもあります。また、本町の文化財や祭りなどは、自然と共に育まれてきた郷土の歴史や文化を後世に伝えるものであり、郷土愛を育むためにも保存・継承していく必要があります。

私たちは、町の重要な資源である恵まれた自然を守り、大洗の魅力をもっと活かす町を目指していきます。

2.2 快適で安心して暮らせるよう、

きれいな空気や水を育み、清潔なまちにしていこう

本町の生活環境に関する問題は、自動車排ガスなどの大気汚染や事業所排水などによる水質汚濁のほか、ポイ捨てを含む不法投棄による生活空間の悪化などがあります。これらの問題は、町民だけではなく、本町に魅力を感じて訪れる観光客のためにも、改善が望まれます。

快適な生活環境を維持し、さらなる向上を目指すためには、毎日の暮らしや事業活動から大気汚染や水質汚濁の原因物質を低減させ、清掃活動や花いっぱい運動などの環

境美化活動を進めていくことが必要です。

私たちは、快適で安心して暮らせるよう、きれいな空気や水を育み、清潔な町を目指していきます。

2.3 日常生活や事業活動において、地球環境を思いやる行動をしよう

地球温暖化[※]の進行によるものとされる気候変動は、温室効果ガス[※]の排出抑制対策である「緩和策」と、気候変動の影響による被害の回避・軽減対策である「適応策」により対策を進める必要があります。緩和策については、日々の暮らしや事業活動から排出される温室効果ガス量を削減するため、排出量や削減量を数値などで把握しながら取り組めるようにすることが目標達成に繋がります。また、適応策については、気候変動による現象にある程度適応する必要があることを認識し、多岐に渡る分野から本町が進めるべき取組について、関係機関等と連携して検討を進める必要があります。

循環型社会を形成するためには、生産者は自ら生産する製品等について、使用され廃棄物となった後まで考えた生産活動を行うとともに、消費者は賢い選択とできるだけ廃棄物を減らす消費行動を行うことが重要です。本町の1人1日当たりのごみの排出量は県内最多であるため、3Rの最優先順位である「ごみの発生抑制（Reduce(リデュース)）」は、緊急の課題として町全体が丸となって取り組むことが必要です。

私たちは、地球規模の課題である気候変動対策と循環型社会の形成に取り組むため、日常生活や事業活動において、地球環境を思いやる行動をする町を目指します。

2.4 大洗の環境を良くするために、みんなで行動し、連携していこう

本町の豊かな自然や歴史・文化を守り、観光都市として美しい町並みを維持し、持続可能な社会を目指すためには、一人ひとりが環境について理解を深め、家庭や学校、地域社会、職場などさまざまな場面で環境に配慮した活動を実践することが重要です。

町内の小中学校では、環境教育に地域の特性を活かした活動も取り入れるなど、様々な環境問題に対応した取組が行われています。今後は広く町民に対して、環境について正しい知識と情報を得る場や機会を作り、その後の環境保全活動に繋げていく必要があります。

環境保全活動は、町全体の美化活動として定着している「クリーンアップ大洗」がありますが、今後は、美化活動だけではなく、水辺や里山の生態系保全、外来種除去などにも拡大していけるよう活動内容の拡充と協働で推進していくための仕組みづくりが必要です。また、町内の事業者が行っている松林の整備やフリーマーケットの開催、建物内の全照明LED化など環境にやさしい取組を町民や事業者にも周知し、町全体の環境意識の向上と環境保全活動の活性化を図ることが必要です。

私たちは、大洗の環境を良くするために、みんなで行動し、連携する町を目指していきます。

3. 環境施策の体系

環境将来像

基本目標

環境施策の方向

ひとと自然が共生し
環境にやさしいまち
大洗

恵まれた自然を守り、
大洗の魅力を活かしていこう

1.1 生物多様性を理解し、
生態系を守っていこう

1.2 大洗の自然・歴史・文化と
ふれ合い、守り伝えよう

快適で安心して暮らせるよう
きれいな空気や水を育み、
清潔なまちにしていこう

2.1 海風が心地よい大気環境を維持しよう

2.2 きれいな海を守り、
泳げる涸沼を目指そう

2.3 暮らしの安心・安全を守り続けよう

2.4 清潔な町並みを保っていこう

日常生活や事業活動において、
地球環境を思いやる行動をしよう

3.1 緩和と適応の両面から
気候変動対策を進めよう

3.2 3Rを進め、
循環型社会の形成を目指そう

大洗の環境を良くするために、
みんなで行動し、連携していこう

4.1 環境を守るため、
環境について学んでいこう

4.2 みんなで協力し合い、
環境保全活動に取り組もう

環境施策の内容

- ①生物多様性保全の普及・啓発
- ②海浜部の保全と活用
- ③河川・湖沼の保全と活用
- ④山林・農地の保全と活用

- ①自然を活かした公園等の保全
- ②文化遺産の保護・保全
- ③自然・歴史・文化の活用

- ①大気環境の保全
- ②悪臭対策
- ③騒音・振動対策

- ①水環境の監視・調査の継続
- ②生活系・事業系の排水対策
- ③土壌・地下水汚染対策

- ①有害化学物質の排出防止対策
- ②放射性物質による環境汚染対策

- ①環境美化意識の普及・啓発
- ②きれいなまちづくりの推進

- ①気候変動の緩和策（CO₂削減）の推進
- ②気候変動の影響に備えた適応策の推進
- ③オゾン層や酸性雨など地球環境問題への対応

- ①ごみの発生抑制と減量化の推進（Reduce(リデュース)）
- ②再使用の推進（Reuse(リユース)）
- ③再資源化の推進（Recycle(リサイクル)）
- ④3Rの総合的な推進と適正処理の推進

- ①環境教育の推進
- ②環境学習の推進
- ③環境情報の収集及び提供

- ①環境保全活動の普及・啓発
- ②環境保全活動リーダーの育成
- ③環境保全活動の支援

リーディングプロジェクト

～計画全体を先導していく施策～

1. 海の町から発信！
美しく豊かな海を育むプロジェクト
2. みんな一緒に！
観光地からごみを減らすプロジェクト
3. 日々前進！
気候変動対策プロジェクト
4. 学び教え合う！
環境意識を高めるプロジェクト

